



地域なんでも情報局

令和2年8月13日発行
長崎市社会福祉協議会
長崎市上町1番33号
☎095-828-1281



しおりが海を渡る

が座る感染予防にも十分気を配った運営に心掛けていました。

この日の内容は、七夕づくりでした。講師は、手芸や折り紙が得意な同会員の濱崎和

しおりが海を渡る

届けられて好評を得ています。七夕づくりに参加したみなさんは、濱崎さんに習いながら、折り紙を使って色とりどりの鶴や鎖や金魚などを折り、糊付けして穴を空け紐を付けて、竹籠にくくり付けました。

2年度にこの地区的春ノイロイチーに呼び掛けて発足し、毎月一回活動しています。

今回の新型コロナウイルス感染拡大の予防のために自粛期間を経て4か月ぶりの再開となりました。会場では、手指の消毒、マスクの着用、窓を開けての換気、長��時間などなりました。

このほど、長崎市小ヶ倉地区の上揚公民館で行われてい
る上揚ふれあいサロン（高齢者サロン・代表、松尾満雄さ
る）を訪問しました。

美さん（78歳）です



安否気うがうせ

長崎市社協 小ヶ倉支部



くらしを」など日ごろからの
願いをしたためていきました。
七夕の飾りつけをしながら
「今日は、その山口さんは
見えんねえ？」と、安否を氣
づかう声に、人のあたたかさ
を感じるサロンのひと時でし
た。

「この笹は、ご近所に住む同会員の池田伝一さん（90歳）が、この日のために近くの竹林から切り出してきたそうです。つり下げた短冊には、「転ばない足腰鍛えて いつまでも」、『災害よ きようなう 安心の



茶話会も二口ナ感染が落ちて、着くまでは中止。代わりに帰り際に和菓子が配られました。

世界中が混乱している新型コロナウイルス。緊急事態宣言は解除されたものの、まだまだ油断できない状況が続いています。そのような中、地域活動は新しい様式を取り入れながら、徐々に再開しています。



公民館に着いたら
まずは消毒！

右写真は、社協愛宕団地
支部の食事サービスです。
開始前の机等の消毒は勿論
のこと、冷房を入れながら
換気を行い、感染予防と熱
中症対策を徹底していまし
た。「久々ね！」と声を
かけ合う様子も見られ、顔
を合わせる大切を感じまし
た。不安な状況は続きます
が色々な工夫を取り入れな
がら皆で乗り越えていきま
しょう。（佐々野由佳）

当会ホームページから「地域なんでも情報局」
バックナンバーがダウンロードができます！
『長崎市社協 地域なんでも情報局』で検索
ください。

会費募集中!!『地域なんでも情報局』は、市民の皆様からお寄せいただいた社協会費により発行しています。

